

手順書: 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 25. 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整(7-2)

【特定行為の概要】

医師の指示の下、手順書により、身体所見(食事摂取量、栄養状態等)及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整を行う

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

1. 栄養状態の悪化が認められる
2. 脱水が疑われる
3. 持続点滴が長期に及ぶ場合

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識レベルの変化がない
- ☐ バイタルサインに大きな変化がない
- ☐ SpO₂ ≥ 92%
- ☐ 浮腫の増悪がない

病状の範囲内
安定/緊急性なし

【診療の補助内容】

持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐ 意識状態の変化
- ☐ バイタルサインの変化
- ☐ SpO₂
- ☐ 血糖値
- ☐ 刺入部の状態
- ☐ 呼吸音の変化
- ☐ 浮腫の状態の変化

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

主治医もしくは当該科の医師へ報告

【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 主治医もしくは当該科の医師へ報告
2. 診療記録への記載

病状の範囲外
不安定/緊急性あり

1項目でも☐あり

主治医へ直接連絡し、
指示を受ける

1項目でも☐あり